



任意団体 中部壘商連合会

東海地域のびんリユース構築に向けたシステム再生・構築に向けた、検討と実践について

一般助成

3年目

実践

毎月1回の
推進協議会の開催

10回

ワークショップの開催

1回

活動の全体目標に
対する達成度

80%

課題

びんリユースはびん製造事業者、中身充填事業者、卸、飲食店、一般市民、廃棄物処理を担う自治体の協力なしには実現が難しく、従来の取り組みでは後退の一途を辿らざるを得ない。

目標

びんリユースを通じて、2Rの環境配慮、地産地消、障害者の社会参加の三つの分野で継続的に社会貢献するソーシャルビジネスを東海地域に成立させる。

活動内容

1.東海地域びんリユース推進協議会及び総会の開催 2.環境配慮、地産地消、雇用をテーマとしたリユース(再使用)のビジネスモデルの確立 3. 2の効果の検証と、とりまとめ 4.東海地域における日本酒に関わるステークホルダーとのネットワーク構築 5.主に一般市民を対象としたびんリユース周知のための新しいかたちのワークショップ開催。



ワークショップ開催

達成できなかったこと

推進協議会にびんリユースの物流においての要となる卸事業者を取り込むことができなかった。卸事業者にとってはびんリユースのメリットを感じてもらえなかったことが原因である。

今後の展望

リユースに携わる様々な分野の方に環境とそれ以外のメリットを感じてもらえるようなアイデアを出していく。

成果と工夫したポイント



成果

びんリユースの実証実験に際し酒造3社及び、外食事業者2店舗の協力を得られた。また、飲食店でワークショップを開催。びんリユースに携わる方から一般の方まで、約30名が参加し、活発な意見交換を行った。

工夫

若者世代の参画を実現するため、この地域で産官学とのネットワークを持つ主体との連携を重視し活動した。